

日時	発言者	内 容	市場への影響度
5/1	イングランド銀行 (BOE)	「米国のサブプライムローン問題による世界の金融機関の損出をマーケットは過大に見積もっている。」(金融安定化リポートで)	
5/2	F R B	欧州中銀(ECB)とスイス国立銀行と協調し、市場への資金供給拡大。 (ECB、スイス中銀へそれぞれ500億ドル、120億ドルと倍増)	
5/3	ウォーレン・バフェット (米著名投資家)	同氏が率いる投資会社の年次総会で「ドル安は今後も続く」との見解を示した。	
5/7	ウォール・ストリート ジャーナル	ポールソン米財務長官が「金融危機の最悪期を脱したようだ。」と述べたと報道。	ドル上昇へ。
5/7	ホーニグ カンザスシティ連銀総裁	高インフレの定着で金融引き締めが必要になる可能性に言及。 (前日の講演で)	金利引き下げ休止への連想からドル高へ。
5/9	A I G	1-3月期決算で78億500万ドル(8千億円)の赤字に。 サブプライムローン関連で152億ドル(約1兆5300億円)の損出を計上。	ドル/円102円後半→102円前半へ NYダウ大幅下げに。
5/12	HSBC (英最大手銀行)	1-3月期決算で58億ドル(約6000億円)のサブプライムローン関連損出を計上。	
5/13	バーナンキ FRB議長	講演で「喜ばしい兆候はみられるものの、正常な状態にはなおほどと遠い。」 ポールソン財務長官とは認識の違いを示す。	
5/13	イエレン サンフラン シスコ連銀総裁	現在の政策金利は適正との認識を示す。	
5/14	ユンケルルクセンブルク 首相(ユーロ圏議長)	「石油や食料価格の高騰で平均的な所得層の負担が増えている。」EC財務相会合で 物価上昇に警戒感を示した。	
5/15	バーナンキ FRB議長	金融機関に対して「資本増強をさらに続けるよう」促し、 「市場は不安定な状況が続いている」とコメント。(シカゴでの講演で)	
5/16	ポールソン財務長官	「金融市場の混乱は終わりに近い。」と講演で述べる。	
5/16	米 ドールドマン	今年後半の原油価格見通しを107ドル-140ドルに引き上げた。	
5/28	フィッシャー ダラス連銀総裁	「景気後退の中でもインフレの兆候が続くようであれば、政策転換を行うことは あり得る」と講演で発言。	
5/29	バーナンキ FRB議長	「金融市場は正常な状態には程遠い。」とこれまでの発言を繰り返す。	